

②子育て支援サービスがどこでも十分に行き渡っている状況にはなっていない

- 二期にわたるエンゼルプラン、平成14年度からの「待機児童ゼロ作戦」で保育サービスの拡充を図るものの、保育ニーズの増加により、待機児童はまだ多数存在しています(図6)。
- 地域協同体の機能が失われていく中で、相談相手や自分に代わって短時間子どもを預けられる人が得られず、子育てが孤立化し、負担感が大きくなっています(図7)。

図6 保育所待機児童数の推移

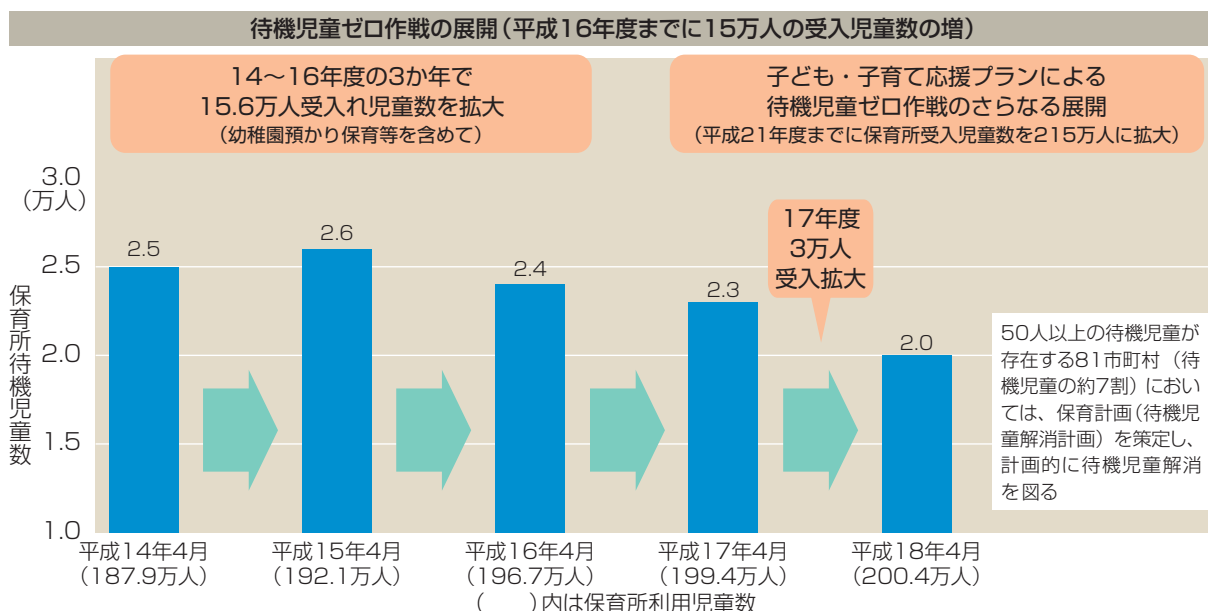
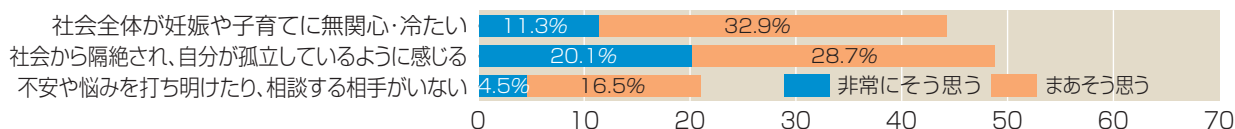


図7 子育ての負担感

●周囲や世間の人々に対してどのように感じているか(妊娠中又は3歳未満の子どもを育てている母親)



●母の育児不安別に見た追加出産意欲(追加で出産する予定の子ども数)

